

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (九州)	良く なっている	都市型ホテル (副支配人)	単価の動き	・相変わらず毎月、コンサートや学会、MICE関係、インバウンドなどで、地域全体に客が多く、宿泊単価が非常に上がっている。
	やや良く なっている	商店街(代表者)	単価の動き	・企業のキャンペーン関係の販促物や、喪中年賀状の印刷などの需要で売上はあがっている。しかし来客数は減少している。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・来店数も確かに増えている。来店して見るだけでなく、実際に購買まで至る客が増えてきている。
		一般小売店[鮮魚](店員)	お客様の様子	・そろそろ忘年会の時期に入ってきたので、フグが少し動き出した。まだ本格的に回復したとは言えないが、やや良くなっている感触がある。
		一般小売店[生花](経営者)	販売量の動き	・開店祝いや催し物での花の需要があった。気候も良くなったので花も売れるようになった。その一方で、長く続いている店が閉店するなど、全体的にはそこまで景気は良くなっていない。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・自社クレジットカードの新規会員が増加している。毎年恒例の北海道物産と観光展は連日盛況で、物産展の過去の売上を更新した。また、県産品の購入が対象のプレミアム付商品券を使って、普段手の届かない美術工芸の薩摩切子、薩摩ボタンを自分用に買う客が目立った。
		百貨店(店舗事業計画部)	お客様の様子	・寒暖がはっきりしてから売上が動き出す傾向が顕著なため、また歳時期にからめて買物に出る傾向が強いため、11月は給料日以降になってようやく冷え込んできたこともあり買物目的の来店が増えている。
		その他専門店[コーヒー豆](経営者)	来客数の動き	・前年と比べて来店客数の増加がみられる。年末にかけての需要と気候的にも寒くなってきたので、今後、コーヒーの消費が増える見込んでいる。
		ドラッグストア(部長)	販売量の動き	・大規模なセールの売上が好調に推移した。インバウンド客の買上も順調に伸びている。月間トータルでも計画値を上回るペースで進捗しており、引き続き堅調な状況にある。
		その他専門店[ガソリンスタンド](統括)	お客様の様子	・燃料油の小売価格は11月に入って下がり、近年では最低価格のレベルまで下がっている。単価が下がっているため、満タン給油の顧客が増加している。顧客に、12月の賞与支給について聞くと、「例年並み」という答えが多かった。
		観光型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・宿泊・レストラン・一般宴会等は順調に推移しているが、披露宴の予約・問い合わせが前年に比べ減少しており、また披露宴自体の人数も小規模化している。披露宴の売上構成が大きいため、披露宴減少を他部門でカバーする構成になっており、全体売上計画は前年比・予算とも厳しい状態である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・月の前半はかなり悪かったが、後半に雨が降って気温が急に下がったので客が一気に増えた。全体的にはプラスマイナスゼロの状態である。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・11月にしては暖かくて雨が多く、各種イベントや規模の大きな学会、コンサートも多くタクシー利用が増えた。	
	変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・11月前半は暖かい日が続いたが、後半は気温が急に下がったので、主婦たちはその日のおかずを何にするのか、なかなか大変だったようだ。我々も品ぞろえに大変苦労した。
商店街(代表者)		お客様の様子	・暖冬による冬物商品の不振が大きく影響している。原因は天候ばかりではなく、社会的な先行き不安が消費行動に大きく影を落としている。	
商店街(代表者)		来客数の動き	・商店街の中で、10月いっぱい閉店や退店する店が3~4軒あり、厳しい状況である。	
商店街(代表者)		来客数の動き	・中心市街地への来街者数はそう変わっていないが、若干買物する状況が少なくなっている。しばらくこの状況が続く。	
商店街(代表者)		来客数の動き	・悪くはないが、来客数が伸び悩んでいる。	
一般小売店[青果](店長)		単価の動き	・夏の猛暑のため青果物の相場が高騰して、ただでさえ売れない時期に販売量が落ち、売上額が上がらなかった。最近、涼しくなって、消費量も増えた。しかし、全国的に野菜の生産量が多いために全体的に単価が下がり、トータルの売上額が伸びていない。	

一般小売店〔精肉〕(店員)	販売量の動き	・暖冬の影響か、鍋物需要がそれほど伸びていない。
一般小売店〔茶〕(販売・事務)	販売量の動き	・先月までと変わらない販売方法だが、今月に入り来店する客は増えている。急な気温の低下が原因だ。土産用は少し高めを購入するが、自宅用は相変わらず低価格である。
百貨店(企画)	販売量の動き	・ポイントアップキャンペーンなど、顧客メリットが大きいイベントのときに来店や購買が集中するが、普段の消費は抑制気味だ。
スーパー(経営者)	単価の動き	・ボーナスの時期になってきたが、全体的に単価が上がらない。
スーパー(店長)	来客数の動き	・客の動向は微増で、野菜相場などの落ち着きもあり、天候も例年通りに戻ってきた。
スーパー(店長)	販売量の動き	・食料品の売上は前年比の103%で推移しているが、一番悪い衣料品は暖冬のせいだ、前年比70%で推移している。寒波がくれば衣料品の場合は売れてくる。
スーパー(店長)	販売量の動き	・食品は客数、売上点数とも好調に推移しているが、暖冬の影響もあり、衣料品が軒並み厳しい状況である。
スーパー(統括者)	販売量の動き	・販売量が引き続き良好に推移している。
コンビニ(経営者)	販売量の動き	・前年より上回っている店舗と下回っている店舗の両方がある。ただ合計すると前年を下回っているの、そういう意味では状況は悪い。
コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・客数、客単価共に下回っている。客の財布のひもは固く必要なもの以外の商品は購入しない。
コンビニ(エリア担当・店長)	単価の動き	・前年と同時期に麺類、フライヤー、おにぎり等のセールを行っているが、商品自体の動きは前年と変わらず、客も「プラス1品」を買おうという購買意欲があまりみられない。季節商材を値下げ処分して販売しているが、それに注目する客も少なく、客単価の向上にはつながっていない。
衣料品専門店(店員)	販売量の動き	・気温が高すぎてコートやニットなどの冬物が動かなかった。前年割れの売上だった。
衣料品専門店(総務担当)	お客様の様子	・今月は暖冬の影響もあり、客の購買態度が非常に慎重で、なかなか購買にまで至らない状況である。
乗用車販売店(総務担当)	販売量の動き	・新車販売が低調である。中古車とサービスの売上はほぼ計画通りに推移しているが、肝心の新車に勢いが無い。新型車投入が待ち遠しい。
住関連専門店(経営者)	来客数の動き	・今月は大きなイベント等もなく、売上、来客数とも低調である。また当地域の海苔の生産が良くなく、先の見通しも厳しい。
その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕(従業員)	来客数の動き	・当地では、第30回国民文化祭が10月31日～11月15日まで開催されていた。各会場は参加者観覧車でにぎわっていたが、県下全域で開催されたため人が分散されたので、売上は増えなかった。
その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕(統括者)	販売量の動き	・インバウンドに支えられ売上確保している状況に大きな変化はない。
その他小売〔ショッピングセンター〕(広報担当)	販売量の動き	・暖冬で冬物衣料が不振である。また暖房器具についても同様である。気温低下を期待する。
高級レストラン(支配人)	来客数の動き	・ディナータイムの来客数が減っている。予約数も減っている。
一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・前年比でみても来客数が変わっておらず、若干ではあるが客単価が下がっている。
居酒屋(経営者)	来客数の動き	・飲食店に限るのかもしれないが、飲みに出るという習慣がなくなってきたようだ。
都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・外国人観光客に支えられて、福岡市内の宿泊施設の稼働率は相変わらず好調であり、ここ2～3年はホテルの新規開業が相次ぐ予定である。ただし、外国人観光客頼みだということから考えると、国内の消費需要が物足りない。
旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・法人需要は堅調であるが、パリ同時多発テロ以降、直近での海外予約が少なくなっている。
タクシー運転手	お客様の様子	・今月はゴルフの客が良く、ホテルも団体、個人と少しずつ増えており、タクシー利用もまあまあだった。

	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・中国との貿易がメインの企業は、中国の景気が良くないのでそのあおりで厳しい状況が続いている。飲食チェーンを展開している企業は、仕入れ値が上がっているが売値は変えられず厳しい状況である。
	ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・入場者数は前年並みでここ2～3か月は少しずつ上向いていたが、地元のプレーヤーは料金の安いところへ流れている。そのなかでも地域で潤っているような病院関係、団体職員等はそのままだ。賃金格差が少しずつ響いているようだ。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・世の中全体が購買力より、不安のほうが先立っている。
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・仕事の物件数が少ない。そういうことで、良くもなく悪くもない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・不動産売買については順調に対応できているが、宅地分譲、マンション分譲のほうは客の様子見が多くてなかなか成約に至らない状況が続いている。消費税増税が引き金になっていない状況である。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・小売業は、販売価格の低下と客の購買力の低さから、全体をみても厳しい状況である。
	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・入店客数は前年を超過しているものの、10月後半から11月にかけて気温が高い状況が続き、アパレルの冬物重衣料の動きが全くない。スノーボードや冬山用品等季節商材の動きもなく、全体的に売上が伸びていない。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・暖冬の影響で衣料品を中心に全く売れていない状況である。
	百貨店（営業担当）	それ以外	・少し風向きが変わってきた。株価は何とか維持しているが、今まで好調であったインバウンド等も少し陰りが見え始めてきた。また、今月は気候の関係もあって重衣料が悪く、それに加えてお歳暮が非常に苦戦している。件数は減っていないが、単価ダウンが大きく響いている。
	百貨店（営業統括）	お客様の様子	・11月の前半は暖冬で、防寒商品の動きが非常に厳しい。それに伴い客の来店も鈍く、お歳暮ギフト早期承りも連動して低迷している。
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・今の時期は、防寒商品が売上の中心になるが、気温のせいもあり今年は全く反応がない。
	百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・当店は今月の見通しが、対前年比95.1%、3か月前と比べると100.2%である。衣料品は紳士服が82%、婦人が86%。身の回り品が89%、食品は103.5%である。競合店は3店共に悪くなっている。今月は気温が例年より高かったことが原因の一つだ。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・11月は気温の高い日が続く、衣料、日用品の売上が大きく後退している。また食品も鍋物等の単価アップができなかったことで、停滞している。
	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・販売額が久しぶりに前年を下回っている。前年の景気の反動以外に暖冬の影響が大きく、鍋商材や冬物衣料などの動きが悪い。
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・客単価、客数ともに減少傾向である。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・気候のせいもあるが、衣料品、特に婦人服の動きが鈍い。天候に売上の良し悪しが左右されるので、冬らしい天気が早く来てほしい。そうでないと、厚手の服は一気にバーゲン用の商品になってしまうだろう。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月は天候要因が非常に大きい。気温が下がらないために季節商材が動かず、例年に比べてかなり数字が悪くなっている。
	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・暖冬により冬物がさっぱり動かず、他の商品にも悪影響が出ている。
	家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・現時点で暖冬ということで、エアコンを含む暖房器具の動きが良くない。
	高級レストラン（専務）	来客数の動き	・市内の人の利用は少なくなったが、火山噴火が沈静化したことと、アジアからの旅行客がかなりあったおかげで良くはないが何とかやっていける状態である。
スナック（経営者）	来客数の動き	・毎年11月は夏場の120%前後の伸びがあるが、今年の11月は夏場とほぼ同じ売上しか見込めそうにない。	
都市型ホテル（販売担当）	単価の動き	・11月は宴会売上がマイナスになりそう。婚礼もマイナスになりそう。宿泊は相変わらず好調を維持しており、東京、大阪方面からの客が多い。	
通信会社（営業）	販売量の動き	・販売数や広告のレスポンスが鈍い。	

		競輪場（職員）	販売量の動き	・前年度比売上が若干マイナスで推移している。
		音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・受験期に向かうので、お稽古事は減っていく。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・戸建住宅で1割程度落ち込んでいる。ただし賃貸住宅については一定割合を維持している。
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・気温が高いという天候要因があまりに大きい。10月の好調から一転して非常に厳しい11月となった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・気温が高い状況もあるが、やはり衣料品、住関連部門の売行きが非常に悪い。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・ほとんど来客なく商店街は閑散としている。
その他専門店〔書籍〕（副店長）		販売量の動き	・天候が悪かったことが主な要因である。	
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は例年になく暖かく、鍋を食べたいという気が起こるような気温にはならなかった。鍋の分が少なかった。やはり、季節通り寒くならないと客も飲食に対する意欲がわかないようで、11月は良くなかったが、10月よりは気持ち程度良かった。	
企業動向関連 (九州)	良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が既存も増えているが、新規の注文や相談がきており大変多忙となっている。人手も今集めているところである。
	やや良くなっている	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・外車のショールームの改装及び新規出店が多くなっている。高級車の売行が全般的に良いため必然的に家具も単価の高いものが売れている。また、ホテルの出店が全国的に増えており、見積提出は前年同月比で30%程度伸びている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・機械部品加工の受注が以前に比べ受注量が増えている。
		電気機械器具製造業（取締役）	受注量や販売量の動き	・車載関連、特殊半導体などは引き続き引き合いが多い。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新車両投入による初期需要で生産台数が増加している。
	変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月は一時的な原料不足があり、売上は若干下回るともかもしれない。ただ注文量は円安による輸入減や国内生産の安定感もあり、従来と変わらず引き合いは強い。特に冷食メーカーは年末特需の生産期でもあり、発注量が多く対応できていない。
		農林水産業（営業）	取引先の様子	・市況に伸びがない。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・商品の需要、生産ともにピークの時期なので、比較的順調に推移している。
		繊維工業（営業担当）	取引先の様子	・注文は多くなっている。工賃も検討してくれるようだ。しかし、最低賃金の上昇には、追い付かない。大企業は、今まで以上の検査や、工場管理を要求してくる。
		金属製品製造業（事業統括）	取引先の様子	・地域によって異なる。好調な地域である中部地区と不調な地域である九州地区が入り混じり、全体的にはあまり変わらない。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・客の様子は今までと変わらない。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・どの業種の方と話しても、景気が上向いているという実感がないという会話に終始する。
		輸送業（総務）	受注量や販売量の動き	・荷物の動きに変化が少ない。12月の繁忙期も年々少なくなってきた。
		通信業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・ソフトウェア関連取引の水準は一定のレベルを保っているが受注価格及び受注量に変動はない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・企業及び個人について今後期待感はあるものの、今現在は3か月前に比べて大きな変化はない。
金融業（従業員）		取引先の様子	・新興国経済の減速などから海外向けの生産がやや弱含んでいる。また、公共投資も減少してきている。一方、雇用者所得は改善してきており、百貨店・スーパーなどの売上は増加傾向にある。	
金融業（営業担当）	取引先の様子	・建設・不動産など一部の業種は引き続き順調であるが、一般消費の伸びが鈍く飲食店等中心に売上高の低迷が続いている。		
金融業（営業）	取引先の様子	・製造業は、一定の受注は確保しているものの、中国経済の減速以降は、停滞感がある。		

	金融業（得意先担当）	取引先の様子	・当地域の観光業、小売店舗の代表の話によると、景況感はかなり改善しているとの声も聞くが、地域のイベントや当県で行われたキャンペーン等特殊要因によるところが大きい。建設業関連は依然受注量が厳しく、総じて変わらないと判断する。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・融資状況に変化がない。	
	新聞社〔広告〕（担当者）	受注量や販売量の動き	・売上の中核である「通信販売」「旅行」の広告は前年並みだったが、前年度好調だった太陽光発電関連の広告出稿がなく、マイナス分をカバーできずに全体では90%前半にとどまる見込みである。	
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・営業活動に励んでいるが、なかなか見込みがない。	
	経営コンサルタント（社員）	受注価格や販売価格の動き	・原料米の価格が上がり始めた。	
	経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・受注件数・金額、問い合わせ件数に変化がない。	
	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・11月の業況は業種によってまちまちだ。火山の噴火等の影響でホテル関係は若干落ちている。暖かかったので衣料関係も少し悪かったようだ。ただ、11月はイベントが好調で人出が多かったため、飲食関係が例年に比べて良かった。	
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・受注成果が好調な取引先が多い。業種で濃淡あるが、建設業関連は好調である。自動車の新車販売は苦戦している。新車登録の40%が軽自動車だそうで、普通車の売行きは厳しい様子である。設備の更新、増設、都市再開発のファイナンスなど資金ニーズは高い。	
やや悪くなっている	建設業（社員）	競争相手の様子	・同業者のなかには、官公庁の受注がないので、小口工事の下請を請け負っている業者もいる。今年度はまだ官公庁の受注が1本しかないなど、今のままでは正月を越せないなどの話をよく聞く。官公庁の発注予定が少ないのが特に気がかりである。	
	その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	競争相手の様子	・市町村発注の調査や計画、設計等の業務は、指名競争入札時に予定価格よりかなり安く受注するケースがみられる。アンケート調査等では、予定価格をかなり下回る価格で落札されるケースがみられることから、景気は悪くなっている。	
悪くなっている	その他製造業（産業廃物処理業）	それ以外	・原油の値下げや生産低下等でほとんどの金属相場が下落している。	
雇用関連 (九州)	良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・約2割が4か月未満の臨時求人であるものの、新規求人数はパートを含む全数で前年同月比13.2%の増加、前年同月比で2か月ぶりに増加となった。フルタイム求人は13.0%の増加、パート求人が13.4%の増加となっている。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣社員の求人数が増加している。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・司会者派遣を行っているが、全国対象の販売店表彰イベントを当地で行う件数が増えた。規模もドーム使用という大規模なものも多く活性化につながっている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ここにきて、新規注文が増えてきた。年末の期間限定の仕事でなく、6か月～1年以上の注文が多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年7～9月の3か月の総数でみると約1万件に対し、今年7～9月は約1万1200件となっており、求人数は1200件ほどの増である。一方は新規求職者は前年比で約600件の減である。
変わらない	人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・景況感上昇の機運はないが、すべての分野において人材確保が課題である。	
	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人件数などに特に大きな変化はみられない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・博多港へ寄港する中国などからの客船がやや減ってきたが、鉄道、バスなどの事業は好調が続いている。中国の経済状況が心配される報道があるが、当面はアジアからの観光客が急に激減するとは考えにくく、好調のまま変わらない。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・正社員雇用が増加していない。	

	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求人数は増加傾向で推移しており、就職件数も前月比で増加傾向にある。しかし、求職者の希望が多い正社員の就職件数は前月比で増減を繰り返していることから、全体の状況としては変わらないと判断している。
	職業安定所（職業紹介）	求人数の動き	・新規求人の前年比での増加傾向は続いているものの、小幅な増加となっている。
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・求人の数は落ち着いている。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・年末繁忙期の人材需要が前年同期とほぼ変わらない。
	学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・採用予定数に達していない中小企業が多く、引き続き求人の申込が寄せられている。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人の動きは、引き続き順調に推移している。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が今期初めて前年同月を割っている。上半期に増加した企業のオフィスワーク系の求人が一段落した感がある。
悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・生命保険会社コールセンター等の求人も落ち着き、求人数は減ってきている。